

おわりに、参考文献一覧・既刊の『金沢大学文化人類学研究室調査実習報告書』、奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-04-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/00065940">http://hdl.handle.net/2297/00065940</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



## おわりに

金沢大学文化人類学研究室は、2021年度の調査実習を、金沢市二俣町を対象に実施しました。同町は1992年度に本研究室が同様の調査実習をおこなった集落であり、今回は29年ぶりの再訪となりました。コロナウイルスの拡大が続く中で、いろいろな苦労がありましたが、どうにか、最後の報告書刊行の段階まで来ることが出来ました。実習の実施にあたりましては、医王山公民館長、二俣町会長、同副町会長をはじめとする地元の皆様に、本当にひとかたならぬご協力をいただきました。その他にも、ここにお名前を挙げることは控えますが、本調査実習の実施にあたって多くの方々のご協力、ご指導をいただきました。また、大学コンソーシアム石川からは、「令和3年度地域課題研究ゼミナール支援事業」の一つとして本実習を採択いただき、ご支援をいただきました。これらすべての方々にご心より厚くお礼申し上げますとともに、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

金沢大学文化人類学研究室の2021年度調査実習は、この報告書の刊行をもちまして終了します。本報告書は、1983（昭和58）年より刊行が開始された文化人類学調査実習報告書の継続であり、第37巻となります。また、本報告書は、金沢大学フィールド文化学叢書第19冊として刊行されます。

参加者、調査日程、聞きとり状況など、2021年度における本調査実習の概要は次の通りです。

### <参加者>

西本陽一（教授・調査責任者）、田村うらら（准教授）、飯田玲子（専任講師）、木戸七彩（大学院博士前期課程）、黒崎大智、山田慎之宥（以上、人文学類3年生）、土佐路凌輝、中江結香、西垣晴菜、溝越快（以上、地域創造学類3年生）

### <予備調査>

2021年

- 4月8日 西本 —静光寺にて永代経の参与観察および聞きとり
- 4月17日 西本 —電話での聞きとり
- 4月19日 西本、田村、飯田、木戸、山田、黒崎、中江、西垣、溝越 —聞きとり
- 4月24日 西本 —本泉寺にて蓮如忌の参与観察および聞きとり
- 5月2日 西本 —聞きとり
- 5月8日 西本 —聞きとり
- 5月22日 西本 —聞きとり
- 5月28日 田村 —聞きとり

- 5月29日 西本 ―聞きとり
- 7月12日 西本、田村、飯田、木戸、山田、黒崎、中江、西垣、溝越 ―聞きとり
- 7月26日 西本、田村、飯田、木戸、山田、黒崎、中江 ―聞きとり
- 7月29日 西本、田村 ―聞きとり
- 8月12日 西本 ―聞きとり
- 8月15日 西本 ―戦没者慰霊祭を見学
- 9月4日 西本 ―聞きとり
- 9月9日 西本、山田、中江 ―本泉寺にて永代経を見学、聞きとり
- 9月13日 西本、田村、飯田、木戸
- 9月15日 西本、山田 ―医王山神社にて秋祭り神事を見学

<本調査>

2021年9月25日～30日 西本、田村、飯田、木戸、黒崎、山田、土佐路、西垣、中江、  
溝越

<補充調査>

- 10月6日 西本 ―電話での聞きとり
- 10月9日 西本 ―聞きとり、中江、田村 ―いやさか踊りの見学、聞きとり
- 10月10日 西本、木戸 ―聞きとり
- 10月11日 木戸 ―電話での聞きとり
- 10月21日 田村 ―聞きとり
- 10月28日 中江 ―医王山小中学校でいやさか踊りの練習見学
- 11月2日 中江 ―医王山小中学校文化祭見学、聞きとり
- 11月5日 西本、山田 ―本泉寺にて報恩講の見学
- 11月13日 西本 ―聞きとり
- 11月18日 西本 ―静光寺報恩講に参加、木戸 ―聞きとり
- 11月20日 木戸 ―聞きとり
- 11月23日 西本 ―医王山神社新嘗祭、白山神社新嘗祭
- 12月11日 田村 ―聞きとり
- 12月23日 山田、溝越 ―聞きとり
- 12月24日 山田 ―聞きとり

2022年

- 1月7日 黒崎 ―聞きとり
- 1月9日 山田 ―電話での聞きとり
- 1月20日 山田 ―電話での聞きとり
- 1月24日 西本 ―電話での聞きとり

表1 聞き取り対象者数

	男性	女性	合計
聞き取り対象者のべ数 (人)	47	29	76
聞き取り対象者実数 (人)	38	25	63
うち、二俣町在住者 (人)	34	24	58

(学生による集計)

表2 二俣町の聞き取り対象者数と割合

	男性	女性	合計
二俣町*の人口 (2020年) (人)	152	158	310
聞き取り対象者実数 (人)	34	24	58
聞き取り対象者割合 (%)	22.4	15.2	18.7

(\*二俣町には荒山町、砂子坂町、奥新保町も含まれる。出典は『令和2年市町村地区別人口及び世帯概数』、学生による集計)

表3 聞き取り対象者の内60歳以下の方の数

	男性	女性	合計
全聞き取り対象者実数 (人)	38	25	63
うち、60歳以下の対象者 (人)	5	2	7
年齢不明 (人)	2	0	2
年齢不明を除く60歳以下の対象者の割合 (%)	13.2	8.0	11.1
二俣町の聞き取り対象者実数 (人)	34	24	58
うち、60歳以下の対象者 (人)	4	2	6
年齢不明 (人)	1	1	2
年齢不明を除く60歳以下の対象者の割合 (%)	11.8	8.3	10.7

(学生による集計)

本年度の文化人類学調査実習は、教員3名、学生7名の計10名でおこなわれた。参加者が比較的少なかったことは、本調査でグループに分かれて聞きとりをおこなう際にも密とならず、コロナ禍でのフィールドワークには都合がよかった。

表1～3の示すとおり、本年度は二俣住民のうち18.7%の方々に聞きとりをおこなうことが出来た。これは例年と比べて高率であるが、二俣町が117世帯、310人(2020年)と比較的小規模の地域だったためである。また、例年は男性住民に対する聞きとりが大半であるが、今年度は男性住民と女性住民に対する聞きとり数における差が小さい。一方で、60歳以下の人々に対する聞きとり割合は、二俣町の対象者のうち10.7%と低率である。二俣町の高齢化とともに、壮年の住民は昼間には勤めに出ていて不在のことが多いため聞きとりが難しかったという理由が挙げられる。

コロナ禍は2021年度もつづいたが、対面での聞きとりをほとんどおこなうことが出来なかった昨年度(2020年度)の実習に比べて、本年度はほぼ以前の水準でフィールドワークをおこなうことが出来た。2021年度には、コロナウイルス感染拡大の時期と鎮静化の時期とがあり、主に鎮静化の時期に、感染防止対策を講じて聞きとりや参与観察をおこなうことが出来たのである。本調査(現地での調査実習)は、ワクチン接種が進んだ頃を見計らって、9月末に実施した。

大学においては、大学の発するガイドラインをにらみながら、対面とオンラインによ

る授業を適宜おこなった。オンライン授業では、WebEX というオンライン会議システムを用いて、学生はそれぞれのパソコンから参加した。資料の共有には、昨年度同様に slack (スラック) というオンライン・プラットフォームを用いた。

コロナ禍は継続していたが、大学の図書館は今年度年間を通してほぼずっと利用可能だった。二俣町に関する文献については、刊行されたものは町会から貸していただいたほか、住民の方々が個人的にまとめられた文集も利用させていただいた。さらに、本研究室が 1993 年に刊行した実習報告書が今回の実習での基本文献の一つとなったほか、1992 年度の調査実習の際に集めた資料や記録が保存されており、貴重な情報源となった。

コロナ禍前におこなっていた住民基本台帳の閲覧は出来なかったが、調査対象者の範囲をつかむために、二俣町会から簡単な世帯リストを提供いただいた。人口と世帯や農林業に関する統計データについては、インターネット上で政府が提供しているデータを用いて、整理・分析をおこなった。

実習の進め方においてコロナ禍前からの一番の変化は、scrapbox (スクラップボックス) というツールの導入である (2020 年度から導入)。これは、例えば、聞きとりで聞いた話を項目に分けて書き込むなど、様々なフィールドワークデータをパソコン上にカードとして記録し、参加者のあいだで共有できるツールである。コロナ禍以前には、「情報カード」と呼ばれる B6 版の厚手の紙に記録し共有していたが、scrapbox の導入によって、紙のカードが保管されている大学研究室に行くことなく、遠隔によるデータ利用が可能になった<sup>1</sup>。コロナ禍によって、本実習のデジタル化が促進されたと言ってよいかもしれない。

---

<sup>1</sup> 実際に手で並びかえて比較してみたりと、紙の「情報カード」にも利点がある一方で、scrapbox では、検索して出てきたカードを網羅的に閲覧出来るなど、デジタルデータならではの利点がある。

## 参考文献一覧

### <書籍・冊子>

厚真町高丘自治会

1996 『高丘百年誌』.

医王山校創立百周年記念実行委員会編

1975 『医王 医王山校百周年記念誌』医学山校創立百周年記念実行委員会.

猪狩真一

1993 「二俣の企業精神」金沢大学文学部文化人類学研究室編『金沢市二俣町』金沢大学文学部文化人類学研究室、23-31 頁.

石川県

各年 市町村地区別人口及び世帯数

石川県県民文化スポーツ部県民交流課統計情報室 2021 『令和 2 年国勢調査速報集計 市町地区別人口及び世帯数』(ウェブサイト「いしかわ統計指標ランド」[http://toukei.pref.ishikawa.jp/dl/3928/R2census\\_chiku\\_shokuho.pdf](http://toukei.pref.ishikawa.jp/dl/3928/R2census_chiku_shokuho.pdf) から取得の PDF ファイル).

石川県県民文化局県民交流課統計情報室 2016 『平成 27 年国勢調査速報集計 市町地区別人口及び世帯数』(ウェブサイト「いしかわ統計指標ランド」[http://toukei.pref.ishikawa.jp/dl/3077/H27census\\_chiku\\_sokuho.pdf](http://toukei.pref.ishikawa.jp/dl/3077/H27census_chiku_sokuho.pdf) から取得の PDF ファイル).

石川県県民文化局県民交流課統計情報室 2011 『平成 22 年国勢調査速報集計 市町地区別人口及び世帯数』(ウェブサイト「いしかわ統計指標ランド」[http://toukei.pref.ishikawa.jp/dl/2188/H22census\\_chiku\\_sokuho.pdf](http://toukei.pref.ishikawa.jp/dl/2188/H22census_chiku_sokuho.pdf) から取得した PDF ファイル).

石川県民文化局 2006 『平成 17 年国勢調査市町地区別人口及び世帯の概数』(ウェブサイト「いしかわ統計指標ランド」<http://toukei.pref.ishikawa.jp/dl/1082/H17kokutyoutikubetu.pdf> から取得した PDF ファイル).

石川県企画開発部統計課 2001 『平成 12 年国勢調査 市町村地区別人口及び世帯の概数 (平成 12 年国勢調査速報集計)』石川県統計協会.

石川県企画開発部統計情報課 1996 『平成 7 年国勢調査 市町村地区別人口及び世帯の概数 (平成 7 年国勢調査速報集計)』.

石川県企画開発部統計情報課 1991 『平成 2 年国勢調査 市町村地区別人口及び世帯の概数』.

石川県企画開発部統計情報課 1986 『昭和 60 年国勢調査 市町村地区別人口および世帯の概数』.

石川県企画開発部統計調査課 1981 『昭和 55 年国勢調査 市町村地区別人口および世帯概数』石川県統計協会.

石川県企画開発部統計調査課 1976 『昭和 50 年国勢調査 市町村地区別人口および世帯概数』石川県統計協会.

石川県企画開発部統計調査課 1971 『昭和 45 年国勢調査 市町村地区別世帯および人口概数』石川県統計協会.

石川県企画開発部統計調査課 1966 『昭和 40 年国勢調査 市町村地区別世帯およ

- び人口概数』.
- 石川県土木部道路整備課  
2010 『道路現況調書』石川県.
- 伊藤曙覧  
1962 「越中の蓮如忌習俗」『大谷史学』9: 28-46.
- 伊藤曙覧  
1986 「蓮如忌と山遊び」伊藤唯真編『仏教民俗学大系 6 仏教年中行事』名著出版、197-212 頁.
- 伊藤曙覧  
2002 『越中の民俗宗教』岩田書院.
- 井上雪  
2012 『金沢の風習』(初版 1978 年) 北國新聞社.
- 榎本守恵  
1981 『北海道の歴史』北海道新聞社.
- 小風秀雅  
2016 『大学の日本史 教養から考える歴史へ 4 近代』山川出版社.
- 大菅由華子  
1993 「本泉寺と静光寺」金沢大学文学部文化人類学研究室編『金沢市二俣町』金沢大学文学部文化人類学研究室、98-107 頁.
- 大坪茂人  
1993 「二俣と紙漉きと土」金沢大学文学部文化人類学研究室編『金沢市二俣町』金沢大学文学部文化人類学研究室、41-48 頁.
- 小倉学・藤島秀隆・辺見じゅん  
1976 『加賀・能登の伝説』角川書店.
- 鏡味治也  
1993 「二俣町の地区組織」金沢大学文学部文化人類学研究室『金沢市二俣町』金沢大学文学部文化人類学研究室、9-22 頁.
- 「角川日本地名大辞典」編纂委員会  
1981 『角川日本地名大辞典 17 石川県』角川書店.
- 金沢こども読書研究会編  
1989 『金沢の民話と伝説』金沢こども読書研究会.
- 金沢市公民館職員連絡協議会  
1993 『地域に生きる民俗芸能 金沢におけるその実態』金沢市公民館職員連絡協議会.
- 金沢大学文学部文化人類学研究室編  
1993 『金沢市二俣町』金沢大学文学部文化人類学研究室.

金沢大学法文学部内日本海文化研究室編

1975 『加越能寺社由来 下巻』石川県図書館協会、426-427 頁.

加能民俗の会編

1988 『蓮如さん 門徒が語る蓮如伝承集成』橋本確文堂.

加能昔話研究会編

1979 『加賀の昔話』日本放送出版協会.

鹿野勝彦

1993 「二俣町の概要」金沢大学文学部文化人類学研究室編『金沢市二俣町』金沢大学文学部文化人類学研究室、1-8 頁.

蒲池勢至

2001 「二俣本泉寺の蓮如忌」『真宗民俗の再発見』法蔵館、149-155 頁.

蒲池勢至

2013 「三河の蓮如忌と蓮如伝承」『真宗民俗史論』法蔵館、382-399 頁.

河北郡役所編

1985 『石川県河北郡誌』臨川書店（1920年初版の復刻版）.

北国諒星

2016 『歴史探訪 北海道移民史を知る！』北海道出版企画センター.

小林輝治・藤島秀隆

1984 『金沢市口頭伝承調査報告書（補遺編） 金沢の口頭伝承』金沢市教育委員会、金沢口承文芸研究会.

桜井徳太郎

1955 「新旧文化の接触 真宗信仰と固有信仰との習合」九学会連合能登調査委員会編『能登 自然・文化・社会』平凡社、144-155 頁.

桜井徳太郎

1970 「民間信仰の特質 文化接触の民俗学的課題」『日本民間信仰論 増訂版』弘文堂、125-158 頁.

桜井徳太郎

1972 「蓮如忌習俗の意味 文化接触の民俗学的課題について」『民間伝承』16(11): 482-489.

島田愛子

1993 「女性の暮らし」金沢大学文学部文化人類学研究室編『金沢市二俣町』金沢大学文学部文化人類学研究室、80-88 頁.

総務省統計局

各年 国勢調査データ

総務省 2021 『令和2年国勢調査人口等基本集計結果の要約』（総務省統計局ウェブサイト <https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/kekka.html> から取得の PDF ファイル）.



総務省統計局（ウェブサイト） <https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.htm>  
（各年の国勢調査データを e-Stat [政府の総合統計窓口] から取得。最終アクセス  
2022/2/14）

高丘自治会編集委員会

1976 『高丘部落誌 八十年のあゆみ』高丘自治会（非売品）.

高丘百年誌編集部

1996 『高丘百年誌』厚真町高丘自治会（非売品）.

長岡博男

1975 「所謂『蓮如忌』の習俗について」『加賀能登の生活と民俗』慶友社、266-  
271 頁.（初出 1939 年）.

西水敦子

1993 「二俣の企業精神」金沢大学文学部文化人類学研究室編『金沢市二俣町』金沢  
大学文学部文化人類学研究室、32-40 頁.

西山郷史

1990 「蓮如と蓮如伝承」『蓮如と真宗行事』木耳社、9-64 頁.

西山郷史

2010 『とも同行の真宗文化』臥龍文庫.

農林水産省

各年 農林業センサス

農林水産省 「平成 21 年度食料・農業・農村白書」 2022/1/24 最終アクセス.

[https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w\\_maff/h21\\_h/summary/p1\\_c4\\_01.html](https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/h21_h/summary/p1_c4_01.html) より入手

農林水産省 「2015 年農林業センサス」（農林水産省ウェブサイト掲載ファイル）

[https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/shuraku\\_data/2015/sa/sa\\_2015.html#sa\\_26](https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/shuraku_data/2015/sa/sa_2015.html#sa_26)

財団法人農林統計協会 2010 『2010 年世界農林業センサス 農業集落カード 17  
石川』（DVD-R 版）.

農林水産省 n.d. 「農業センサス農業集落カード：1960 年」（私製、金沢大学図  
書館蔵）

林俊雄

1994-2003 「私の生涯ほか」（ワープロ打ちの原稿。一部、内容に重複あり）

1994 年 「二俣の伝承 二俣の茅葺き屋根」

1996 年 「オコ谷 往来」

1994 年 「ハワイ島めぐり旅行記」

1994 年 「小学校の思い出」

1996 年 「昭和十二年頃の二俣の一年」

1996 年 「台湾一周旅行記」

1997 年 「年表」

1997 年 7 月 25 日 『話の屑籠』「元号に就いて」「兼六公園に就いて」「農家の建て  
方」「島澤君平様に就いて」「今の高校相撲の沿革」「子供の頃の数え言葉」「子供  
同志の二俣と田の島の戯れ争い」「尻取り言葉」「幼少の頃の思い出」「販売品や・  
購買品の包装の移り変わり」

1997 年 6 月 22 日 『話の屑籠』「元号に就いて」「兼六公園に就いて」「農家の建て

- 方」「島澤君平様に就いて」「今の高校相撲の沿革」「新聞に連載された横綱への道  
輪島大土物語より」「子供の頃の数え言葉」「子供同志の二俣と田の島の戯れ争  
い」「尻取り言葉」「幼少の頃の思い出」「販売品や・購買品の包装の移り変わり」  
1998年 『私の生涯』 「私の生涯の想出」  
1999年 「ジェーン台風 昭和二十五年（1950）九月三日」  
1999年 「昭和二十七年大水害（七月一日）・同二十八年大水害（八月二十四日）」  
1999年 「雪の思い出・三八豪雪の猛威」  
1999年 「二俣の冠婚葬祭の移り変わり」「冠婚の部」「葬祭の部」  
1999年 「八十一歳を迎えて」「二俣大火災（鍋島焼け）昭和九年六月二十四日」  
「福井大地震の想出」  
2003年 「親戚のお世話に成って冬籠もり」

#### 藤島秀隆

- 1981 『金沢の昔話と伝説』（金沢市文化財紀要（25-1）金沢市口頭伝承調査報告書）金沢市教育委員会金沢口承文芸研究会.

#### 北海道史研究協議会

- 2016 『北海道史事典』北海道出版企画センター.

#### 北國新聞社編集局

- 1997 「春祭りのような蓮如忌—『上人は仏法の身として生き続けている』『蓮如さん 今を歩む』北國新聞社、183-185頁.

#### 真山武志

- 2011 「二俣いやさか踊り」石川県教育委員会編『石川県無形民俗文化財等調査報告書 平成21～22年度無形民俗文化財・無形文化財調査 ～保存と継承に向け～』石川県教育委員会、93-95頁.

#### 森高美希子

- 1993 「二俣の教育」金沢大学文学部文化人類学研究室編『金沢市二俣町』金沢大学文学部文化人類学研究室、58-67頁.

#### 矢野恒太記念会編

- 2020 『数字でみる日本の100年 改訂第7版』矢野恒太記念会.

#### 吉田豊二

- 1986 「わが故郷再展望」（手書きの複写本）

#### 米村竜治

- 1997 「民俗社会に生きる“蓮如さん”」山折哲雄・大村英昭編『蓮如 変革期の宗教者』小学館、239-249頁.

#### 和田重厚

- 2003 「本泉寺 いわずとした加賀の一大拠点」『蓮如伝説を歩く』戎光祥出版、110-111頁.

## <資料>

- 乾哲也 n.d. 厚真町高丘地区年表
- 金沢市医王山地域活性化協議会 n.d. 「菓草もゆるいおうぜん 清水・田島・二俣・荒山・砂子坂・奥新保」(パンフレット).
- 金沢市文化財保護課 n.d. 「金沢市無形民俗文化財マップ」.
- 杉岡長康 1981 「医王山惣山管理申合事項及二俣の土地の仕組み」.
- 二俣いやさか踊り保存会 n.d. 「二俣いやさか踊り」.
- 二俣町会 n.d. 「令和2年度二俣町会長活動報告」.
- 二俣町会 n.d. 「平成2年度二俣町会行事報告」.
- 二俣町会 n.d. 「平成3年度二俣町会行事報告」.
- 二俣町会 n.d. 「町会費基準割 平成24年度」.
- 二俣町会 n.d. 「町会費基準割 平成2年度」.
- 二俣町会 n.d. 「令和3年度 二俣町組織図(案)」.
- 二俣いやさか踊り保存会 n.d. 「二俣いやさか踊り」(パンフレット).
- 二俣町会 n.d. 「令和2年度 班編成表(総会用)」.
- 『北陸中日新聞』 2021年12月19日号 「二俣和紙で手づくり卒業証書」.
- 『北陸中日新聞』 2021年11月19日号 「二俣和紙紙すき 園児『冷たーい』」.
- 本泉寺 n.d. 「本泉寺 参詣の葉」.

## <ウェブサイト>

- 「いいね金沢 金沢山里朝市回廊連絡会」  
<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/17051/asaichi/asaichi.html> (2021年9月3日閲覧)
- 「医王山校下文化祭&敬老会」  
<https://iouzen.kouminkan.org/activities/31/> (2021/12/26 閲覧)
- 「医王山線 ジェイアール西日本バス」(非公式ファンサイト)  
<http://blog.livedoor.jp/ihsosy999/archives/51671743.html> (2021/12/26 閲覧)
- 「社会福祉法人 医王前福祉会 みずほ保育園」  
<http://mizuho-hoikuen.info/> (2021年6月29日閲覧)
- 「公益財団法人石川県産業創出支援機構 (ISICO) /医王 Y・Y 食品」  
<https://www.isico.or.jp/noshoko-s/noshoko/ns90021.html> (2021年9月3日閲覧)
- 「石川県 二俣いやさか踊り・蛸島早船狂言・お旅祭りの曳山行事」  
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/bunkazai/minzoku/k2-5.html> (2021/1/20 閲覧)
- ウィキペディア「石川県道・富山県道27号金沢井波線」  
石川県道・富山県道27号金沢井波線 - Wikipedia (2021/03/30 閲覧)
- 「加賀二俣 松扉山 本泉寺」  
<http://honsenji.huruike.com/> (2021/12/26 閲覧)

金沢市観光公式サイト「金沢旅物語」

<https://www.kanazawa-kankouyukai.or.jp/kanazawa/> 2021/11/15 最終アクセス

「金沢市公民館連合会」 2022/1/21 日最終アクセス

<https://www.kanazawashikouren.jp/about>

「金沢市御所町の廃隧道」

<https://yamaiga.com/tunnel/gosho/main3.html> 2022/1/23 閲覧

「金沢市立医王山小学校・金沢市立医王山中学校／ささゆり日記」

<http://cms.kanazawa-city.ed.jp/iouzen-j/view.php?pageId=1107> 2022/01/20 閲覧

「金沢市立医王山小学校・金沢市立医王山中学校」

<http://cms.kanazawa-city.ed.jp/iouzen-j/> (2021年3月31日閲覧)

「金沢市立医王山小学校・金沢市立医王山中学校／二俣弥栄(いやさか)踊」

<http://cms.kanazawa-city.ed.jp/iouzen-j/view.php?pageId=10400> 2022/1/20 閲覧

「金沢城の石垣に用いられる『戸室石』について」

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/eizen/sintyoku/kahokumon/documents/kahokumon-shiryoul.pdf> より入手 2021/12/26 閲覧

「国土地理院、地理院地図」

<https://maps.gsi.go.jp/#5/36.104611/140.084556/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f1> 2022/1/24 最終アクセス

株式会社クボタ

<https://agriculture.kubota.co.jp/product/combine/> 2022/1/24 最終アクセス

「自治体通信オンライン デマンド交通の利益と費用」

[https://www.jt-tsushin.jp/article/casestudy\\_demand-kotsu/](https://www.jt-tsushin.jp/article/casestudy_demand-kotsu/) 2021/12/26 最終アクセス

「真宗念仏と紙すきの里 金沢市・二俣町」

<https://futamata.jimdofree.com/> 2021/12/26 最終アクセス

「SUZUKI セニアカーの魅力」

<https://www.suzuki.co.jp/welfare/entertainment/attraction/> 2021/12/2 最終アクセス

「第31回 二俣紙すきの里まつり」

<https://event.arunke.biz/washi/2018> 2021/12/26 最終アクセス

中井農産 ホームページ

<https://nakainousan.shop-pro.jp/> 2022/1/24 最終アクセス

「南砺・金沢線 加越能バス」(非公式ファンサイト)

<http://blog.livedoor.jp/freebbc/archives/52438446.html> 2022/12/2 最終アクセス

「南砺市文化芸術アーカイブス 朴坂峠」

<https://culture-archives.city.nanto.toyama.jp/culture/bunkazai/bunkazai0167/1> 2021/12/26 最終アクセス

「二俣町へようこそ-紙すきの里 金沢市 - 「二俣和紙」紙すきの里・金沢市二俣

町」

<https://futamata.jimdofree.com/> 2021/12/26 最終アクセス

渡辺礼子 2018 「明治・大正期に砺波地方から北海道へ移住した人々の足跡を辿る」、  
ウェブサイト「富山県博物館協会」の中の「デジタル展覧会・電子紀要」掲載

<http://museums.toyamaken.jp/documents/documents026/> 2021/11/03 最終アクセス

## 既刊の『金沢大学文化人類学研究室調査実習報告書』

金沢大学文学部文化人類学研究室 編・発行

- 1983 『現代における伝統—加賀友禅の研究』.
- 1985 『変容する漁村—姫』.
- 1987 『郊外化する農山村—鍋谷』.
- 1989 『町野町金蔵—文化人類学の視点から』.
- 1990 『双子の集落—石川県鳳至郡柳田村寺分・五郎左衛門分』.
- 1991 『西二口町と吉原釜屋町—石川県能美郡根上町の二つの集落』.
- 1992 『鹿島町曾祢』.
- 1993 『金沢市二俣町』.
- 1994 『鶴来町、新町と月橋町』.
- 1995 『石川県石川郡吉野谷村、下吉野と中宮』.
- 1996 『加賀市橋立地区、黒崎町と深田町』.
- 1997 『三木町と瀬越町—加賀市西部の2つの集落』.
- 1998 『富来町、里本江と風戸』.
- 1999 『富来町地頭町』.
- 2000 『中島町鉤打地区』.
- 2001 『中島町笠師保地区』.
- 2002 『鳥越村別宮地区』.
- 2003 『志雄町杉野屋』.
- 2004 『加賀市三谷地区』.
- 2005 『加賀市大聖寺地区と上福田』.
- 2006 『輪島市町野町曾々木と鈴屋』.
- 2007 『輪島市西保地区』.
- 2008 『加賀市西谷地区（旧山中町）』.
- 2009 『輪島市門前町黒島・道下地区』.
- 2010 『珠洲市三崎町雲津・小泊・伏見・高波』.

金沢大学文化人類学研究室編・発行

- 2011 『珠洲市正院町7区 前浜・黒滝・狩的・平床・飯塚東・飯塚西・岡田』.
- 2012 『珠洲市若山町三郷地区 出田・広栗・鈴内』.
- 2013 『珠洲市若山町5区』.
- 2014 『珠洲市蛸島町』.
- 2015 『珠洲市宝立町鶴島』.
- 2016 『鳳珠郡能登町柳田東部地区』.

- 2017 『鳳珠郡能登町上町』.
- 2018 『輪島市門前町七浦地区』.
- 2019 『輪島市門前町門前地区』.
- 2020 『石川県鳳珠郡能登町小木』.
- 2021 『富山県南砺市上平・平地区』.

金沢大学フィールド文化学 19  
石川県金沢市二俣町 再訪  
(金沢大学文化人類学研究室調査実習報告書 第37巻)  
2022年3月31日発行

編集 西本陽一・田村うらら・木戸七彩  
発行 金沢大学人間社会学域文化人類学研究室  
〒920-1192 金沢市角間町  
TEL 076-264-5311, 5788  
FAX 076-264-5362 (共用)  
印刷 栄光プリント  
〒920-0806 金沢市神宮寺 3-4-17  
TEL 076-251-3076